

工事写真報告書

工事番号 平成 27 年度

工事名 T 様邸

工事箇所 外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 下関市 綾羅木新町

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の
塗装をしていきます。



破風板

経年劣化しています。

下地処理をおこない、下塗・上塗塗
装をしていきます。



外壁アクセント

同上



胴差し

旧塗膜が剥離を起こしています。
この上に塗装をしても旧塗膜から剥
がれる恐れがありますので、密着の
悪い塗膜はケレン作業で除去し、塗
装をおこないます。



胴差し

同上



胴差し

同上



洞差し

同上



換気フード

この部分は鉄・スチール素材になります。
劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



土台水切り

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。
劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



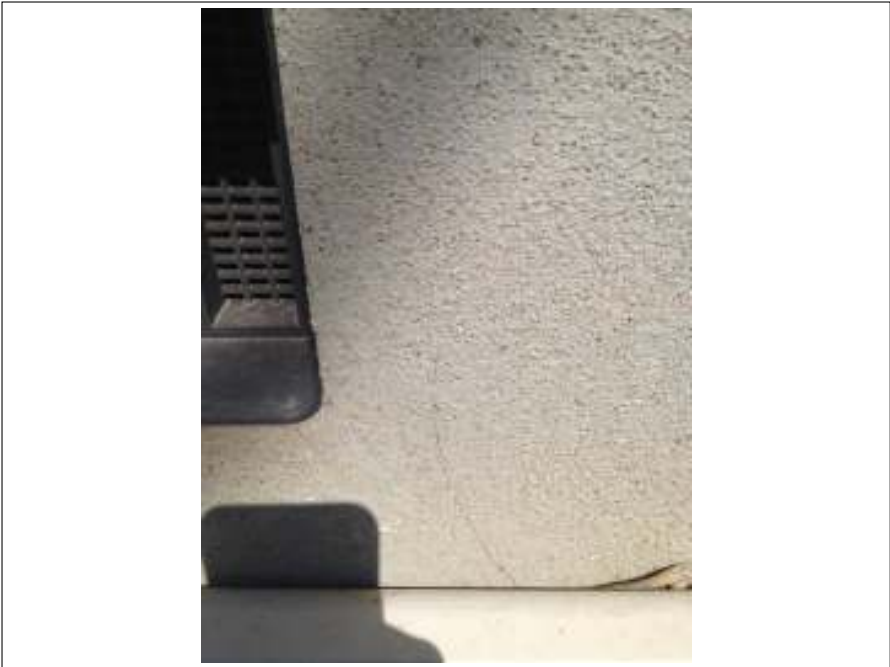
基礎 クラック

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。
中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



基礎クラック部

0.3mm以上のクラックは補修材での補修が必要です。



基礎クラック部

同上



基礎 クラック

同上



基礎 クラック

同上



基礎 カビ発生部

カビの発生が見られます。
いくら高圧洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、塗装していきます。



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。
この状態になると防水効果が低下し表面から水や湿気を吸い込んでしまい躯体の痛みや外壁の腐食・カビの発生につながりますので、早めの塗装をお勧めします



外壁 劣化部

旧塗膜の劣化が見られます。
この状態になると表面から水や湿気を直接吸い込んでしまい、躯体の痛みや外壁の腐食につながりますので、早めの塗装をお勧めします。



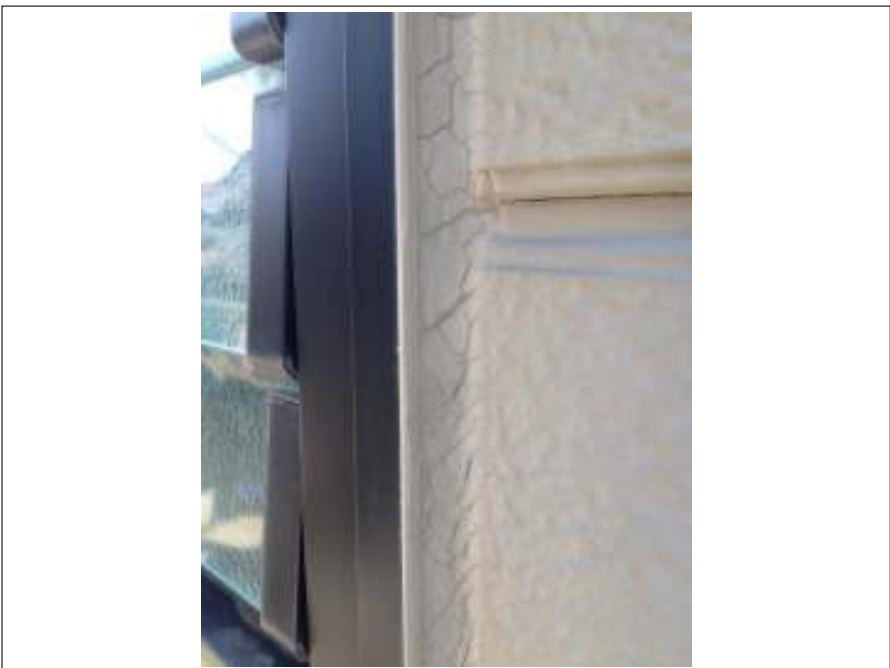
外壁 劣化部

同上



サッシ廻りシーリング劣化部

見落としがちですが、この部分も補修をおこない塗装をしていきます。



サッシ廻りシーリング劣化部

同上



シーリング ブリード現象

シーリング材の中にある油成分が、
表面化してくる現象です。

接しているサイディングや塗装表面
の劣化にもつながり、表面自体は汚
れが付着しやすくなりますので、こ
の部分は下地処理をおこない塗装を
していきます。



シーリング ブリード現象

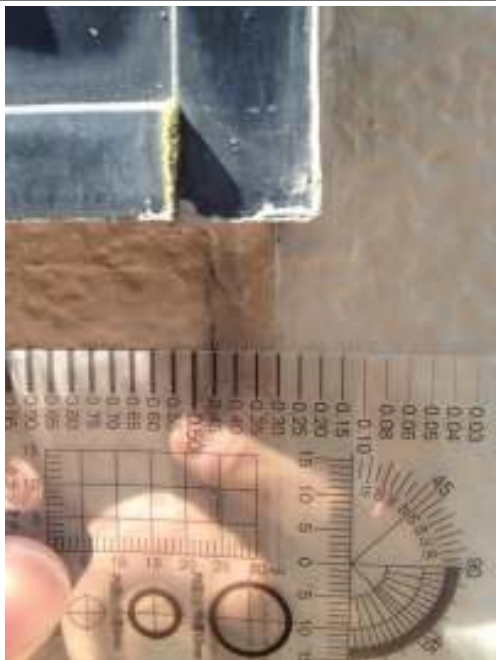
同上



塗膜ひび割れ

全体的に見られます。

この状態になると表面から水や湿気
を直接吸い込んでしまい、躯体の痛
みや外壁の腐食につながりますの
で、早めの塗装をお勧めします。



シーリング劣化部

同上



シーリング劣化部

同上



シーリング劣化部

同上



シーリング劣化部

同上



シーリング劣化部

同上

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

